



広報

イキシア

2024年5月

95号

イキシアには「団結して事にあたる」という花言葉があります。やっとな関心を集めるようになったこの精神保健の分野に理想の福祉を実現する為にあなたの知恵と力をお貸しください。



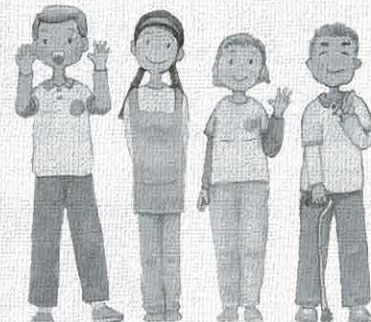
千葉拠点



長生拠点



本部拠点



柏拠点



『気づきと改革』

理事長 寺田 一郎

二〇二四年は能登半島地震と羽田空港事故で新年を迎えました。世界的にはウクライナへのロシア侵攻、イスラエルガザ紛争も全く先が見えない状況です。

ところで一年前のイキシア九十二号で個人の節目として地域の協議会を引退したと、そして法人の節目としてワナーホームの仕上げを行うことを書きました。

今年度(二十四年度)の事業計画では、法人の節目をかなり意識し、基本方針では前年度に引続き次の四項目としました。

- ・ブランディング(法人イメージの徹底Branding)
- ・基本的業務の確実な実行
- ・人材の育成・確保
- ・財務管理の徹底

この方針に沿って、具体的な法人運営における事業計画を作成しました。

さらに、今年ワナーホームの事業を推進する上で、大きな影響があると思われることは、災害対策と二〇二四年問題(運送、建築現場等での時間外労働の制限)です。

災害対策

能登半島地震では、国、県、地元自治体、自衛隊などの初動が遅れ被害状況の把握や避難住民への対応が遅れたことなど、熊本地震(二〇一六年四月)との違いが指摘されています。これには立地が大きく関係しているとは言え、基本的には行政リーダーの判断力と決断力によるところが大きいと考えられます。これを私たちの現場に当てはめると、地震が起こったときにその場で判断するのは、その時その場に居合わせた職員です。上司に判断を仰いでいる暇はありません。そのことをいつも意識している体制作りが求められています。

二月下旬頃から千葉県東方沖を震源地とする地震が続いています。自然災害に遭遇したときの事業継続計画(BCP)はありますが、本当に実効性のある計画となっているのか、改めて見直す必要があることが示されました。

設整備における工事に反映することは明らかです。諸物価の値上がりは、政府がインフレ政策をとり続ける限り解決しません。工事関連では、施設整備は単年度で完了させるといいう行政指導の達成は困難になります。

その中で、四月に障害福祉サービス報酬の改定が行われます。報酬改定の『基本的な方向性』(令和五年十二月六日報酬改定検討チーム)では、地域生活支援体制の強化や相談支援の質の向上などを中心課題として、報酬等の評価と改定を謳っていますが、現在私たちが行っている業務について大きく評価されているとは思えません。報酬の加算を得るためにはサービスのきめ細かな実施体制を作ることが要求されますが、すなわちサービス提供の複雑化に他なりません。医療的ケア児の成人期への移行など(すくすくハウス業務)では、新たに評価され部分には収入増に結び付くこともありますが、必要な人員配置とそれへの評価を見比べて対応することになります。

また、従事者の賃金引上げについて、報酬改定による処遇改善加算額は平均二%、六〇〇〇円と示されています。今年の春闘相場では大手企業の満額回答が並んでいます。高額の初任給も話題に上っています。民間企業との格差はますます拡大しています。

ワナーホームでは昨年度にベースアップを行い定期昇給と併せて四%代の賃上げを実施しましたが、今回の報酬改定が賃上げの原資となるのか極めて疑問です。当初予算は現行報酬単価で作成し、改定単価の実態を精査したうえで補正予算を作成することとしました。

事業運営では、すくすくハウス(柏市)を安定した運営軌道にのせることが最優先課題であることは申すまでもありません。千葉拠点や長生拠点でも施設整備の声が挙がっています。手狭な施設や老朽化した施設で日々業務に携わっている職員たちの思いを早く実現したいところですが、慎重に整備計画を作成する必要があります。さらにワナーホームの原点であるホレブ寮の改築も視野に入れる時期が迫ってきています。

具体的な業務計画は次の通りとしました。

- 支援力の向上
- ・ 支援記録による検証と個別支援計画書作成のマニュアル化
- ・ 職員間情報伝達の整備(会議録、月報、内部報告書、支援記録等の書式統一)
- 職種・役職に合わせた人材育成・登用、職務権限の明文化と評価基準の明文化(就業規則、給与規程、経理規程等の再検討を含む)
- 内部監査体制の充実・強化(経理のみから日常業務まで対象の拡大)
- 法制度と法人事業体制の整合性確保(諸規程の再検討)

これらを一言で表せば、組織体制を確立するということです。誰かが急に休んでも個人プレイに頼らず支障なく業務が行われる組織。職員が異動しても負担感がなく業務に対応できる体制作りを念頭においています。

そのためには、役割、業務手順、評価の基準が文章化されていることが必要です。その過程で現場の職員には「気づきと改革の実践」を期待しています。私にとっては、次の世代に対する義務でもあると思っています。

福祉サービス報酬改定

働き方改革としての二〇二四年問題が日常の諸物価と施

2024年度 事業計画

本部拠点 (居住系事業所)

- ケア付き共同同居
- 共同生活援助
- 日中サービス支援型
(介護サービス包括型)
- 短期入所 (単独型)
- 生活介護



**統括施設長
施設長**
新ホレブ寮
クロワール
ファミーユ
だいち
シエスタ
ノバイツ白里
ホレブデイサービス
センター
武藤 朱里

今年度より本部拠点居住系にホレブデイサービスセンター(生活介護)が加わります。ホレブデイサービスセンターは、本部拠点居住系事業所の利用者が多く通所し、利用者の状態把握なども含めて連携を強化することとしました。本部拠点の管理体制を変更し、新たな居住系として、二〇二四年度は基本的なことを徹底して行う一年とします。

大きな目標は、○書類作成の期限厳守・整理、○個別支

援計画に沿った支援の実施、内部監査機能の構築、○令和六年度障害者総合支援法改正及び報酬改定に基づき体制を整える、とします。

【新ホレブ寮・クロワール・ファミーユ】

新ホレブ寮の空室が課題のため、クロワールの定員を変更する予定としていましたが、居住系全体の課題を捉えた事業展開とするため、昨年度は延期しました。クロワールは山武圏域において数少ない日中サービス支援型です。適切な支援と運営を行うため、外部研修にも積極的に参加し職員のスキルアップを行います。ファミーユは高齢利用者の対応のため、階段の手すりや玄関周りなどの改修工事を行います。また、ノバイツ白里ではファミーユに入所を希望する利用者が長期的に利用をしているため、事業

運営の見直しを検討します。

【シエスタ・ノバイツ白里】

シエスタは、山武圏域地域生活支援拠点に登録し、緊急時の受け入れを随時行える体制を整え

ます。困難ケースにも対応できるよう職員の育成を行います。

ノバイツ白里は、稼働率の課題を鑑みてファミーユとの事業運営の見直しを行います。

【だいち】

だいちには年齢層に幅があり、障害種別も多種となっています。少人数のグループで支援を行い、個々の能力を維持、向上できるような支援、行事を行います。

【ホレブデイサービスセンター】

コロナ対応を緩和し、通常の活動となり、自粛していたプログラムを再開して楽しみの多いホレブデイサービスセンターを目指します。サービス提供時間を変更し、ゆつたりと過ごしてもらえようとしています。

最後に、新たな体制で職員がコミュニケーションをとれるよう努めていきます。

(武藤)



本部拠点 (日中活動系事業所)

- 就労移行支援
- 就労継続支援B型
- 就労定着支援
- 相談支援(特定・一般・障害児)
- 障害者就業・生活支援センター



**統括施設長
施設長**
パンピングハウス
山武アリオ
寺田 一郎



施設長
ワークショップ
しらさぎ
ワークショップ
おおあみ
市東 達也

今年度は、管理体制を編成し運営していきます。そして、令和六年度の報酬改訂により、基本報酬や各種加算の見直しに伴い、サービス提供や内容、支援体制について大きく影響がでる年度となります。

【パンピングハウス】
山武郡市の地域生活支援拠点が開始します。地域生活支援拠点に登録し、緊急時の支援体制を整えたいと思います。



報酬改定に伴い、各種加算の見直しが行われることで加算要件などしつかり把握し対応してまいります。

また、新規利用者の相談、認定調査の依頼が増加しているため、日々の業務の整理を行い対応していきたいと思っております。

【山武プリオ】

法定雇用率の引き上げ等により雇用を巡るニーズの拡大が予想されるため、障害者・企業・関係機関等のニーズに対して丁寧に対応してまいります。そして、所内の職員間の情報共有を迅速に行い、効率的な支援を検討してまいります。

通所事業所において、①報酬改訂の実態に合わせた支援。②職員体制を手厚くし、利用者支援、作業指導等の実施。③送迎、生産活動や外勤

(野老順)

報酬改定に伴い、各種加算制を実施してまいります。

【ワークシヨップしらさこ】

報酬改訂に伴い職員配置を変更し運営します。作業種目を減らし利用者支援体制を強化します。また、就職に向けてモチベーションを高めていくために、定期面談及びモニタリングを丁寧に行ってまいります。

就労移行支援事業の登録者数が減少しており、就職者実績を出すのが難しくなっています。今後の運営について方向性を検討していきたいと思っております。

【ワークシヨップおおあみ】

利用者支援体制を手厚くするために職員配置を変更します。新規利用者の相談、登録は増えつつあるが平均利用者数は上がらない状況が続いています。欠勤が続く利用者に対して電話、訪問など行い通所に繋がる支援をしてまいります。

平均工賃月額の設定方法が見直され基本報酬が上がります。平均工賃額が下がらないために、職員一人一人意識を持ち受注量を増やしてまいります。



(山岡)

山武郡市障がい者基幹相談支援センター

センター長 山岡 功平

基幹相談支援センターは開設三年目を迎えます。今年度から山武郡市の「地域生活支援拠点」が市町によって面的整備で設置されます。これは障害者の重度化・高齢化や親亡き後を見据え、相談や緊急時の受け入れ等の体制を整備し、障害者の生活を地域全体で支える仕組みのことで、山武郡市内の複数の相談支援事業所、短期入所事業所が登録を受けて連携体制をとって開始します。当センターはそのコーディネートを担い、特に緊急時の受け入れを調整する役割を担います。連携を大事に取り組みたいと思います。

今年度は、各施設に施設長の配置となります。三施設長が力を合わせて拠点のマネジメント力を強化することが目標です。千葉拠点新規事業プロジェクトは情報収集と計画の具体化を進めます。

【鎌取相談支援センター】

千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の受託法人として、千葉市の協議会、医療、福祉



四方田 清
施設長
フジエール



末永 慎介
鎌取相談支援センター



野老 順子
統括施設長
ワークシヨップ鎌取

千葉拠点

- 共同生活援助 (介護サービス包括型)
- 短期入所 (空床利用型)
- 就労継続支援B型
- 相談支援 (特定・一般・障害児)

今年度は、各施設に施設長の配置となります。三施設長が力を合わせて拠点のマネジメント力を強化することが目標です。千葉拠点新規事業プロジェクトは情報収集と計画の具体化を進めます。

【フジエール】

千葉市内にグループホームは急増していますが、精神障害者支援に特化したグループホームとして、一人一人に寄り添う支援を心掛けます。地域移行者を受け入れることのみならず、地域への退所支援にも個別性を大事にしつつ計

関係者との連携における推進力となります。

二〇一四年度の事業所開設以来取り組む地域移行支援は地域移行者数累計が一八五名(三月十八日現在)となりました。これは下総精神医療センター始め医療機関や地域の多くの障害福祉事業所、行政の協力あってのことです。今後とも丁寧な情報交換・意見交換を心掛け地域の各関係機関と信頼関係を育み、精神障害者が希望する生活を送れる土壌づくりに邁進します。



画的に取組みます。
【ワークシヨップ鎌取】

昨年度末をもって就労移行支援事業は廃止し就労継続支援B型に事業を一本化しました。地域の相談支援機関や就労移行支援事業所と連携し利用し易い事業所を目指します。工賃単価の向上と、通う楽しみを感じられる場となり、利用者の生活の質の向上に寄与できるよう努めます。
(末永)

柏拠点

- 地域生活支援拠点
- 地域活動支援センター (I型)
- 就労移行支援
- 就労継続支援B型
- 就労定着支援
- 共同生活援助 (介護サービス包括型)
- 短期入所 (空床利用型・単独型)
- 相談支援 (特定・一般・障害児)
- 居宅介護事業
- 移動支援
- 訪問看護
- 放課後等デイサービス
- 児童発達支援
- 日中一時支援
- 生活介護



統括施設長(高川) 施設長 くらまめ
すくすくシヤンプ
すくすくステラフ
すくすくホップ
てくてく
シリアル高田
みつばち訪問看護
ステーション
ハグリーステーション
ぞら



統括施設長(柏下) 施設長 エクラス
たんぼほセンター
上野泰典



施設長 わたげワークス
シリアル柏
たんぼほセンター
小助川左代

「ずっと柏で暮らしたい」と言ってもらえる地域づくりを目指して

今年度より柏拠点は柏下と高田の二拠点体制となります。地域に根差し、一期一会の出会いを大切にしながら事業を運営するために、適正な組織の在り方を検討し、新しい体制をつくることを決めました。目の前にいる人や地域の方々の声を聴きながら歩む法人でありたいと思います。

【柏下拠点】
二〇一七年に柏市より地域生活支援拠点の指定を受け、運営

を開始して七年目を迎えます。今年度も、障害を抱える方々やご家族が安心して相談できる場所、日中活動支援、居住支援、就労支援が受けられるサービス提供体制を継続します。また、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の事務局として、精神障害を抱える方や精神保健に課題を抱える方が住みやすい地域をこれからも目指します。
(上野)

【高田拠点】
昨年度、法人や地域のみならずのご支援によって医療的ケア対応複合施設「すくすくハウス」を開設することができました。ハウス全体で協働し、医療的ケアに対応可能かつ持続可能な体制をつくります。
なかでも、現在準備中の診療所開設は、短期入所の医療型への変換やみつばち訪問看護ステーションとの協働による地域医療機能の強化などの展開が見込めるため、早急に開設を目指します。

また、新たな課題として医療的ケア児者に対応可能な住まいについての検討を始めます。すくすくハウス設立のために生じた法人への負担や、ここまでの状況を踏まえ、ニーズや想いだけでなく、人員体制や財務状況など、持続可能な整備を検討します。
(大久保)

長生拠点

- 相談支援 (特定・一般・障害児)
- 地域活動支援センター (I型)
- 共同生活援助 (介護サービス包括型)
- 就労移行支援
- 就労継続支援B型
- 障害者就業・生活支援センター



統括施設長 ぶらり
ワークシヨップ茂原
長生アリオ
高木由佳



施設長 センター
長生地域生活支援センター
橋本義隆

に、各部会等、様々なかたちで協力する他、長生圏域の基幹相談支援センターの立上げには側面から協力します。

○茂原市は台風等による大雨被害が出る地域であり、BCP(業務継続計画)に基づき事前対策や備蓄品の管理等を行い備えます。
○令和六年度障害者総合支援法改正及び報酬改定に基づき体制を整えます。
○職員間の協力・連携により、働きやすい職場づくりを目指します。

今年度、産休・育休を取得する職員が二名おります。安心して、休暇が取れる、そして、子育てと仕事の両立が図れる職場を目指します。職員各自の役割分担を遂行しつつ、職員同士の助け合いと支え合いが自然に生まれる職場でありたいです。

そして、利用者が安心してサービスを利用できるように、それぞれの事業所で、工夫し取り組みます。
昨年度、スタートしたサンドイツカフェ茂原市役所店の営業も軌道に乗ってまいりました。ページョブル茂原店共々、ご利用お待ちしております。
(高木)

研究発表を終えて
ペジール高田 短期入所そらまめ
ヘルパーステーションそら

今回の研究は、すくすくハウスが完成し、実際に天井型走行リフトを使用している事業所合同で行いました。テーマは「リフト使用による介護負担の軽減」についてでした。

リフト使用により身体的負担は軽減されているように感じていたものの、実際に人力とリフトとで、負担感や疲労度を比べることで客観的にリフトのあたりがたさを自覚することができました。

また、発表でも話したように利用者に声掛けをしながら乗ることができたり、利用者の表情を読み取る余裕ができたりしました。職員の気持ちの余裕は、他のいろいろな支援のプラスになると実感しました。

もう一つ、今回三事業所合同で研究を行ったことで得たことがあります。それはコミュニケーションと、協力し合うこととの大切さです。どの事業所がいつまでに、何をするか、誰が行うか、を細かく話し合い、それぞれの担当がすぐに準備に取り掛かりました。ペジール高田(生活介護)の職員全員はリフトに慣れた身体であるにもかかわらず自力での移乗に身体を張って挑みアン



ケートに回答し、そらまめ、そらの職員はアンケート集計や動画の作成を行い完成させました。やるべきことを分担し、互いに進捗状況をこまめに確認しあい、これで良いのか?と疑問がわいた時には話し合いの場を設けて方向性を確認しました。話し合いの時間は短いものでしたが各々が意見を出し合い、その意見を尊重し、よりよいものを作ろう!と前向きな検討を常にできていたことが、スムーズな完成に繋がったと感じています。今後も、事業所間でヘルプをお願いします。う時があると思いますが、助け合いながらよりよい支援を行っていくための良い機会になったと思います。これからも利用者のため、自分たちの身体のためにリフトを最大限に活用していきます。(広木)

研究発表を終えて
本部拠点

私たちのチームは「ワーナーホームの高齢化」人生一〇〇年時代」をテーマとしました。この研究はワーナーホームの利用者が高齢化していると仮定し、今後どのような生活を望み、それに合った支援を提案することを目的に行いました。まず、アンケート聞き取り調査で対象となる利用者の多くが今後ワーナーホームで生活することを望んでいることが分かりました。私たちは、今後も健康で楽しい生活を送ってほしいという思いから、今回の発表で長寿のお祝いプログラムを提案しました。各事業所で、六十歳(還暦)、七十歳(古希)、七十歳(喜寿)、八十歳(傘寿)等、節目の歳で長寿の色の

ちゃんちゃんこで記念撮影や、職員からのメッセージカードでお祝いするという内容です。節目の年をみんなで楽しくお祝いすることで、健康で長生きするモチベーションを高めることができるのではと思います。

実際にワークショップしらすとでは六十歳以上の利用者が十五名在籍し、作業しています。その中でも最高齢が七



十八歳となり週二回、軽作業を行っています。また、今年七十六歳を迎える農園利用者は毎日通所し、誰よりも元気で作業に取り組んでいます。何歳になっても元気に作業をしている姿を見るたびに感心させられ、自分も頑張ろうというモチベーションになっています。

私たちは今回の発表を通して、利用者にも今まで以上に健康を意識してもらうための三つの提案を紹介しています。まずは私が所属しているワークショップしらすとで積極的に実施していこうと思っております。各事業所でも参考にしていただければ幸いです。(山本和)

ありがとう北柏!

今年度北柏は浸水被害を受けて、すくすくハウスへ一時移転しました。柏拠点全体で一日も早い開所を目指し、より一層結束が深まったように思います。

四月からは、北柏もすくすくハウスへ移転となり、思い出のつまった場所を離れるのは寂しいですが、新しい環境でも沢山の経験をしていきます。(橋本)



千葉拠点
 ワークショップ鎌取
 令和6年3月31日で
 就労移行支援事業終了
 となりました。



事務長
野老正樹

採用されて二十三年目を迎え、事務長を拝命しました。振り返ると、事務だからといって、決まった業務の繰り返しではなく、毎年新たな出来事が起こり、それを乗り越えてきた年月だったと思います。それはきつとこれからも変わらないはず。今後、どのようなことが起きたとしても、それをみんなで協力して乗り越える気持ちで業務に取り組みたいと思います。



統括施設長
上野泰典

柏拠点(柏下)の統括施設長に就任しました上野です。統括施設長として大切にすることは「対話」です。事業を支えている職員と、職員同士が想いや考えを共有できる機会を作りたいと考えています。「対話」を通して、目指すべき方向に向かって柏拠点(柏下)が一丸となり、利用者と共に歩んでいきます。そして、地域への貢献を果たしていきます。



施設長
市東達也

今年度から施設長として勤務することになりました。今まで以上に法人職員としての職責の重さを感じています。職員間のコミュニケーションを大事にし、相互に支援し合える事業所運営を目指していきます。利用者の適正に合わせて、日中活動の場として楽しく通所できるように、利用者と向き合い、良い環境でサービスを提供していきたいと思っています。



施設長
橋本義隆

今年度、長生地域生活支援センターの施設長に就任しました橋本です。ワナーホームに新卒で就職し、今年で十四年目を迎えました。これまで、生活介護・グループホーム・就労系事業・相談支援など、複数の事業を経験してきました。理事長をはじめ、先輩方から教わった事を生かし、次世代としての役割を担い、一層精進していきたいと思っています。



主任
菊地貴恵

まず、今私があるのは、日々、共に働く仲間の支えがあつてこそだと感じています。自分の至らなさを痛感する毎日ですが、いつも陰ながらサポートしてくれる温かい仲間にも恵まれていることを、心から感謝しています。

今後は視野を広げ、拠点全体や地域の課題にも注目し、私達がどのように地域と共に成長し、貢献できるかについても考えていきたいです。



主任
小橋國康

今年度より主任になりました小橋です。すくすくハウスを地域に根ざした事業所にしていき、地域の医療的ケア児を支えていけるよう尽力していきたいです。ワナーホームで働くのはまだ三年目の為、分からないことが多くご迷惑をおかけしてしまうかもしれませんが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

リーダー



本部拠点
秋葉千晴



本部拠点
鈴木千春



本部拠点
関根美香



柏拠点
杉岡美穂



柏拠点
吉越麻美



柏拠点
梶野 真



千葉拠点
矢部文一



千葉拠点
北條なつ美

ワナーホームの主な動き

《一月》

・初詣(玉前神社)／ワークショップ茂原



・初詣(柏神社)／わたげワークス
・初詣(日吉神社)／ワークショップおおあみ
・初詣&新年会(諏訪神社まる笑)／地域活動支援センターたんぼぼセンター
・初詣(東光院(平山薬師))／フジエール



・初詣(玉前神社)／だいち
・初詣(千葉厄除け不動尊妙泉寺)／ワークショップしらさと

・初詣(白子神社)／ホレブデイサービスセンター

・年始レク(ホレブ寮食堂)／クロワール・ファミーユ・シエスタ・ノバハイツ白里



・千葉県障害者就労促進チャレンジ事業企業向け見学相談会(ネグロス電工株式会社横芝工場)／山武ブリオ
・わたげ合同ポッチャ(たんぼぼホール)／地域活動支援センターたんぼぼセンター
・かんたん料理「ソーセージ作り」／長生地域生活支援センター

《一月》
・ラーメンの会(寺田屋ラーメン)／地域活動支援センターたんぼぼセンター
・アウトリーチコンサート(柏市教育委員会主催・たんぼぼホール)／地域活動支援センターたんぼぼセンター
・節分(介護棟)／ホレブデイサービスセンター

《三月》

・第二回在職者交流会(パンプキンハウスホール)／山武ブリオ
・創作活動「あずま袋」／長生地域生活支援センター



・いすみ鉄道の旅「大多喜、大原」ハーブガーデン／長生地域生活支援センター
・就労体験会(ペジューブル)／ペジューブル柏



・ひな祭り(介護棟)／ホレブデイサービスセンター
・遊具お披露目会(すくすくハウス インクルーシブ遊具)／すくすくハウス全体
・卒園、卒業、進級お祝い会(すくすくハウス)／すくすく全事業所

・理事会

《四月》

・第二回入社式(すくすくハウスホール)／ペジューブル高田

寄付・会費をくださった方々

イキシア入会のお願ひ

イキシア会は利用者とそのご家族及び一般有志からなるワナーホームの支援団体です。活動においてご理解をいただき、ご支援・ご協力を賜ります様宜しくお願い致します。

広報イキシアは年三回(一月・五月・九月)発行されます。

《会費》

賛助会員 三,〇〇〇円(年)
正会員 一〇,〇〇〇円(年)

収支決算書

自2023(令和5)年4月1日
至2024(令和6)年3月31日

イキシア会 単位:円

| 支 出 | | 収 入 | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 振込手数料 | 22,715 | 会 費 | 788,000 |
| 経理費(事務費) | 12,220 | (142名) | |
| 小 計 | 34,935 | 小 計 | 788,000 |
| 次期繰越 | 9,146,025 | 前期繰越 | 8,392,960 |
| 合 計 | 9,180,960 | 合 計 | 9,180,960 |

編集後記

イキシア九十二号に掲載していますが、デスクの上に押し猫カレダを飾って癒されています。今年度も押し猫カレダを飾り、癒されながら仕事に励みたいと思っています。イキシアも読むだけではなく、楽しめる広報誌にしていきたいと思ひます。(M)

発行所

ワナーホーム
イキシア会

千葉県大網白里市細草3215

電話 0475-77-2100(代)

URL https://www.wanahome.or.jp

発行人 寺田 一郎